



6時間スイム&ウォーキンググリレー

11月24日、安平町スイミングクラブ主催の「第15回安平6時間スイム&ウォーキンググリレー」が安平町スポーツセンターで実施されました。生涯スポーツとして水泳の普及を目的に行われている当イベントは、10時から16時まで参加者82名がグリレーを行い、スイム6万4500回、ウォーク2万7千4百回、合計8万7千850回を撃ぎました。グリレーに参加した方は「普段は協力して泳ぐことがないから楽しかった」と話してくれました。

家内安全・商売繁盛

11月25日から27日にかけて、老人クラブ友の会の皆さんによる恒例のしめ飾り作りが豊栄会館で行われました。

ベテランともなると20年以上のキャリアがあるそうです。藁をねじっただけのしめ縄の状態から鯛や扇、恵比寿様、鶴や亀などの縁起ものが器用に飾り付けられ、色鮮やかなしめ飾りが出来上がっていき様子や宝船の船首と船尾の方向について教えていただきました。友の会の皆さん、来年も健康で過ごされますように。

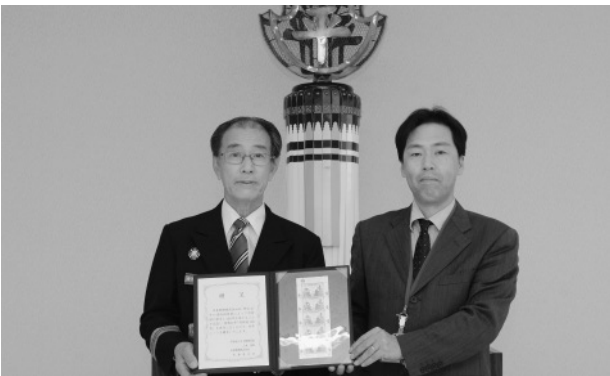


消防団発足から120年

日本に消防組（消防団の前身）が発足して120年。これを記念に日本郵便株式会社は特殊切手を11月25日に発行

11月29日、同北海道支社と早来雪だるま郵便局から安平消防団へ特殊切手贈呈式が行われました。

贈呈式に臨んだ安平消防団上田団長は、「団員一丸となつてますます精進していきたい」と決意を表明。贈られた切手には半纏に身を包み、まといを担ぎ江戸町消火に扮する歌舞伎役者がデザインされています。



いじめをなくそう

今年の2月、いじめについて、一人ひとりが考え、行動できるようになることを目的として初めて開催された「安平町いじめ子ども会議」。その第2回目が、11月25日に早来町民センターで行われました。会議の冒頭で、豊島教育長から「いじめを止める力を養ってもらいたい」とあいさつ、吉田生涯学習アドバイザーからは「いじめによって幸せになる人はいない」など、いじめとの向き合い方が話されました。

会議には、小中学校の児童会・生徒会の代表者16名が参加し「いじめのない安心して学べる学校に」というテーマをもとに、2つのグループに分かれて意見を交換。

いじめは「遊びから発展している」が起きる、「相手が嫌だということはない」、「加害者側にいじめをしてい」という認識がない」などの意見が学年関係なく活発に交わされました。いじめが起る原因を話し合った上で、いじめをなくす方法についても



話し合い「いじめに気持ちを向かせない」、「いじめに直面したら止めるように言う」、「自分達で止められなかったら、すぐに先生や親に相談して助けてもらう」という意見が出ていました。

グループごとの意見交換を終えた後は、グループの代表者による発表を実施。

その中では、「一人ひとりがいじめをなくす意識を強く持つことが、いじめが起きない環境に繋がると思う」という発表も行われました。